

バリウム検査と胃カメラ検査の違い

	バリウム（胃X線造影）	胃カメラ（胃内視鏡） オプション
方法	バリウム（造影剤）と発泡剤（胃をふくらませる薬）を飲み、食道から胃・十二指腸までの上部消化管をモニターで観察し、胃の粘膜面を撮影	口から（または鼻から）体内へ内視鏡を入れて胃の内部を観察
特徴	<p>胃の粘膜表面や全体の形を見るのに優れている</p> <ul style="list-style-type: none"> 食道や胃の動きがわかる スクリーニング検査として使われる 昔から集団検診に用いられている  <p>バリウムは白く、ガスは黒く写ります。</p> <p>体を動かしながらバリウムを胃壁に薄く付け、病変を見つけます。</p>	<p>消化管の病変の形、色、出血などがわかる</p> <ul style="list-style-type: none"> 小さな病変を見つけることも可能 バリウム検査などでがんが疑われた場合、生検を行うなどの精密検査としても有用  <p>胃壁の凹凸だけでなく、色調など粘膜を直接観察するため、小さな病変を見つけることも可能です。</p>
短所	<ul style="list-style-type: none"> 放射線被爆がある 詳細な診断が難しい 便秘になりやすい 	<ul style="list-style-type: none"> 嘔吐反射がづらい 麻酔が必要 胃カメラの洗浄が必要
禁忌	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠中（もしくは妊娠疑い） 大腸疾患治療中（炎症性腸疾患などの経過不良の方） 腸閉塞の既往あり 便秘症（3日以上便通がない方） 	<ul style="list-style-type: none"> 抗凝固薬や抗血小板薬服用中 薬物アレルギーあり 循環器疾患あり
料金	<ul style="list-style-type: none"> ドック標準項目（無料） 	<ul style="list-style-type: none"> オプション検査 ￥5,500（税込）
備考		<p>以下の方は胃カメラ検査をおすすめします</p> <ul style="list-style-type: none"> 食道・胃・十二指腸疾患の既往歴（胃がんも含む）あり ピロリ感染歴あり ペプシノゲン検査異常値 高齢者 喫煙歴あり 飲酒による赤面あり（食道癌のリスク）